

令和7年度第2回わがまちパートナーアンケート 「市政モニター制度」に関する意識調査報告書

▼調査概要

調査 対象:わがまちパートナー登録者(全59名)
サンプル数:30件(令和7年9月10日現在)
回答率:50.8%
調査方法:WEBアンケートフォームへ入力

1. 「市政モニター制度（わがまちパートナー）」について

◆目的

アンケートを実施することにより、市民の意見を迅速かつ効果的に把握するとともに、市民が市政に参加しやすい環境の醸成を目的とする。

◆役割

- 市政に関するアンケート調査に回答すること。
- その他わがまちパートナーの設置の目的を達成するために市長が必要と認めること。

◆対象者

- 市内に住所を有する方
- 登録する年度の4月1日現在において満18歳以上の方
- 住民基本台帳から無作為に抽出した第3条に該当する者に協力依頼を行い、承諾いただいた方、もしくは、ご本人から登録希望された方

令和7年度第2回わがまちパートナーアンケート 「市政モニター制度」に関する意識調査報告書

▼調査概要

調査対象:わがまちパートナー登録者(全59名)
 サンプル数:30件(令和7年9月10日現在)
 回答率:50.8%
 調査方法:WEBアンケートフォームへ入力

2. 活動実績

年度	募集及びアンケート内容（テーマ）	回答数	回答率
R02	わがまちパートナー第1期募集 (登録者87名)		
	「新型コロナウイルス感染症拡大下における市民生活の変化と市の施策」	78件 (87件中)	89.6%
R03	「認知症との共生に向けて」	79件 (87件中)	90.8%
	「買ってお得！地域のお店・事業者応援商品券」の効果を検証する	77件 (87件中)	86.5%
R04	※アンケートを実施する予定でしたが取り止め。		
R05	わがまちパートナー第2期募集 (継続41名、新規22名、合計63名)		
	「市長と語ろう！わがまち富田林」への参加 ・今後の『富田林市わがまちパートナー』でやってみたい事 ・皆様が富田林市について感じておられること (第2期募集での新規登録者のうち希望者5名参加)		
	「認知症と伴にあゆむ笑顔のまちについて」	45件 (63件中)	71.4%

年度	募集及びアンケート内容（テーマ）	回答数	回答率
R06	「富田林市における市民の皆さまの声を聴く広聴活動について」 「富田林市行財政改革についてのアンケート」 ※広報誌1月号にもアンケート調査依頼を掲載しているため、モニターが既に広報誌から回答している場合は、右記の回答数には反映していない。	54件 (63件中)	85.7%
	「参加型アンケート＜第一段階＞（周知活動と参加依頼のみ）」開始 「市長と語ろう！わがまち富田林」への参加 ・今後の『富田林市わがまちパートナー』について (希望者6名参加)	33件 (63件中) 総数271件	52.3% ※
R07	わがまちパートナー公式LINE運用開始（R7.3.25登録依頼）。		
	「広報とんだばやし（広報誌）について」 「市政モニター制度わがまちパートナーの新たな取り組みについて」 ※1 わがまちパートナー専用LINE公式アカウントもしくはメールアドレス登録者のみ対象 ※2 回答方法はLOGOフォームのみ	49件 (63件中)	77.7% 郵送10件 ネット39件
		30件 (59件中) ※1	50.8% ※2

令和7年度第2回わがまちパートナーアンケート 「市政モニター制度」に関する意識調査報告書

▼調査概要

調査対象：わがまちパートナー登録者（全59名）
サンプル数：30件（令和7年9月10日現在）
回答率：50.8%
調査方法：WEBアンケートフォームへ入力

3. 新たな取り組みについて（参加型アンケート）

目標

令和6年度より、新たな取り組みとして、参加型アンケートをモニター（わがまちパートナー）を活用して実施しており、市の事業やイベントの周知と市民の参加を促進し、より実効性のあるフィードバックを得ることを目指します。

本取り組みは、段階的に実施し、試行錯誤を重ねながら最適な方法を確立します。

第1段階

周知活動と参加依頼

期間：初回実施から約6ヶ月間

内容：市の事業やイベントの情報をモニターに提供し、モニター自身への周知と参加を促すとともに、モニターにも可能な範囲で周知活動を依頼する。

目的：モニターを通じて市民の関心を引き、市政活動に関わるきっかけを提供する。

第2段階

周知状況と参加率のアンケート

期間：第1段階実施後

内容：モニターに対して周知状況や参加率に関するアンケートを実施。

目的：周知活動の効果を測定し、今後の改善点を把握する。

第3段階

意見を求める行事や事業の選定とアンケート

内容：第2段階の調査結果を基に、意見を求める行事や事業を選定し、実際に参加したモニターに対してアンケートを実施。

目的：モニターの意見を具体的に収集し、結果を反映させる。

令和7年度第2回わがまちパートナーアンケート 「市政モニター制度」に関する意識調査報告書

▼調査概要

調査 対象:わがまちパートナー登録者(全59名)
サンプル数:30件(令和7年9月10日現在)
回答 率:50.8%
調査 方法:WEBアンケートフォームへ入力

3. 新たな取り組みについて（参加型アンケート）

第1段階の取組として、現在「わがまちパートナー」の皆さんへ7件のイベントや取組を配信し、周知ならびに参加をお願いしています。

- R6.12.3 エジプトフォーラム<R7.1.18開催>(政策推進課)
- R7.2.12 石川大清掃<R7.3.2開催>(環境衛生課)
- R7.4.17 緑化フェア&植木市<R7.4.25～4.27開催>(道路公園課)
- R7.4.25 万博大阪ウィーク春<R7.5.9～5.11開催>(政策推進課)
- R7.5.1 万博レポーター(政策推進課)
- R7.5.19 地域子育て応援機関(子育て応援課)
- R7.7.6 特別開催！夏のキッズチャレンジ<R7.8.4開催>(都市魅力課)

令和7年度第2回わがまちパートナーアンケート 「市政モニター制度」に関する意識調査報告書

▼調査概要

調査 対象:わがまちパートナー登録者(全59名)
サンプル数:30件(令和7年9月10日現在)
回答 率:50.8%
調査 方法:WEBアンケートフォームへ入力

4. アンケート調査について

◆テーマ

「市政モニター制度わがまちパートナーの新たな取り組みについて」

◆調査目的

「市民とともにつくる、市民が幸せになる、市民本位の市政」の実現に向けて、市政モニター制度（わがまちパートナー）を活用し、市の事業やイベントの周知および市民参加の促進を図るとともに、より実効性のあるフィードバックを得ることを目的として、参加型アンケートの実施に向けた今後の活用方法の見直しを行うため。

◆回答方法

わがまちパートナー専用LINE公式アカウントおよびメールにより通知し、WEBアンケートフォームでの回答

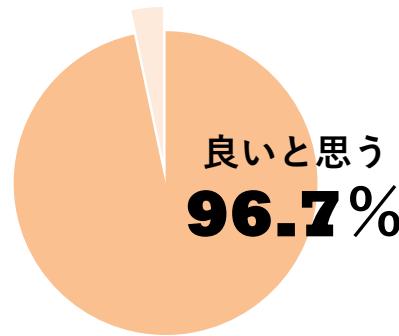
令和7年度第2回わがまちパートナーアンケート 「市政モニター制度」に関する意識調査報告書

▼調査概要

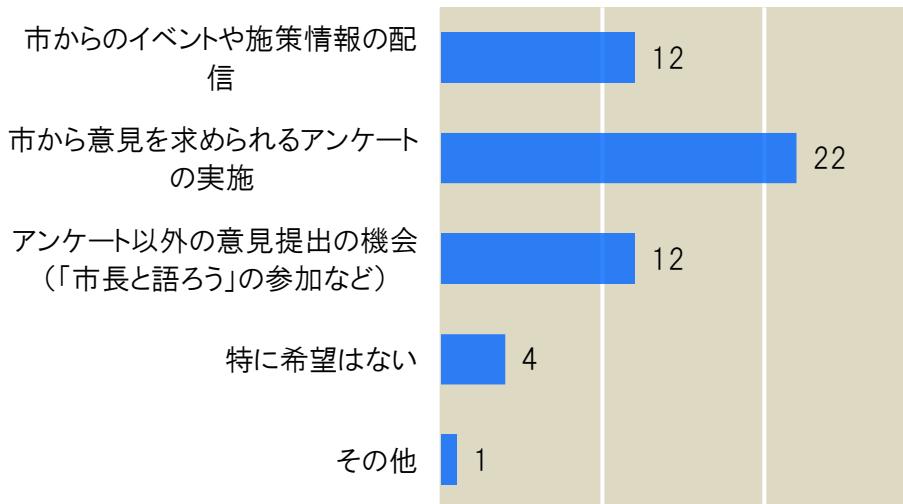
調査 対象:わがまちパートナー登録者(全59名)
サンプル数:30件(令和7年9月10日現在)
回答 率:50.8%
調査 方法:WEBアンケートフォームへ入力

5. アンケート結果（現在の取り組みについて）

市からのイベントや施策に関する情報が、LINEや
メールで定期的に届くことについてどう思いますか



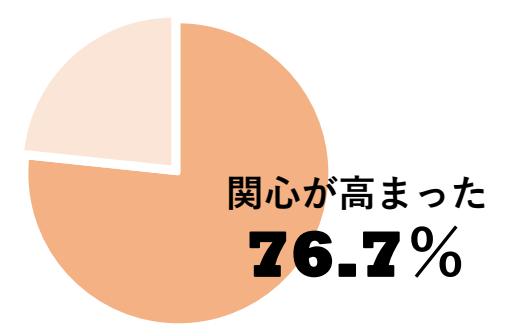
「わがまちパートナー」としての活動として、今後どのような取り組みを重視してほしいと思いますか



※「良いと思う」の割合は、「とても良いと思う」「良いと思う」という回答を合わせたものです。

「その他」の主な記載内容
①他の委嘱委員との交流（民生委員や青少年リーダー）

イベント・施策情報の配信が、あなたの市政への関心にどのような影響を与えていますか



※「関心が高まった」の割合は、「関心が高まった」「多少関心が高まった」という回答を合わせたものです。

現在の取り組みについて、「良いと思う」との回答が95%を超えており、「関心が高まった」との回答は75%を超えていました。
「わがまちパートナー」として重視する取り組みは、「アンケートの実施」が一番多い結果となりました。

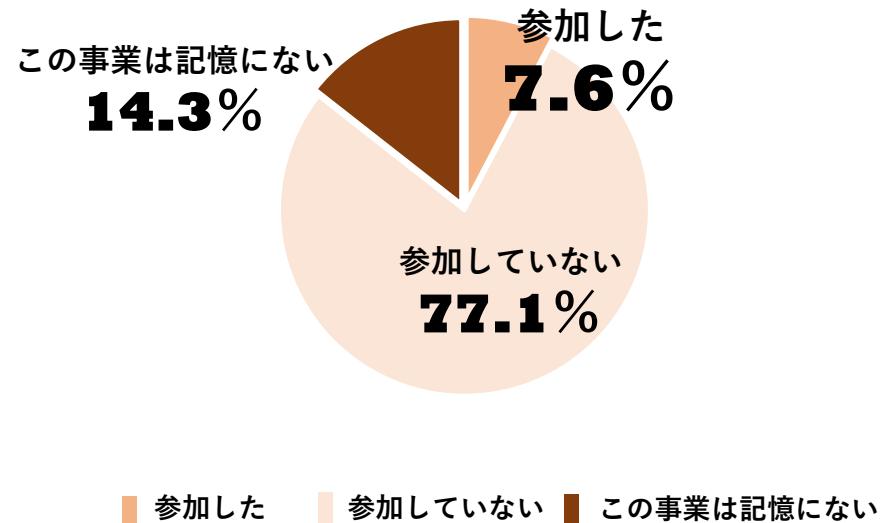
令和7年度第2回わがまちパートナーアンケート 「市政モニター制度」に関する意識調査報告書

▼調査概要

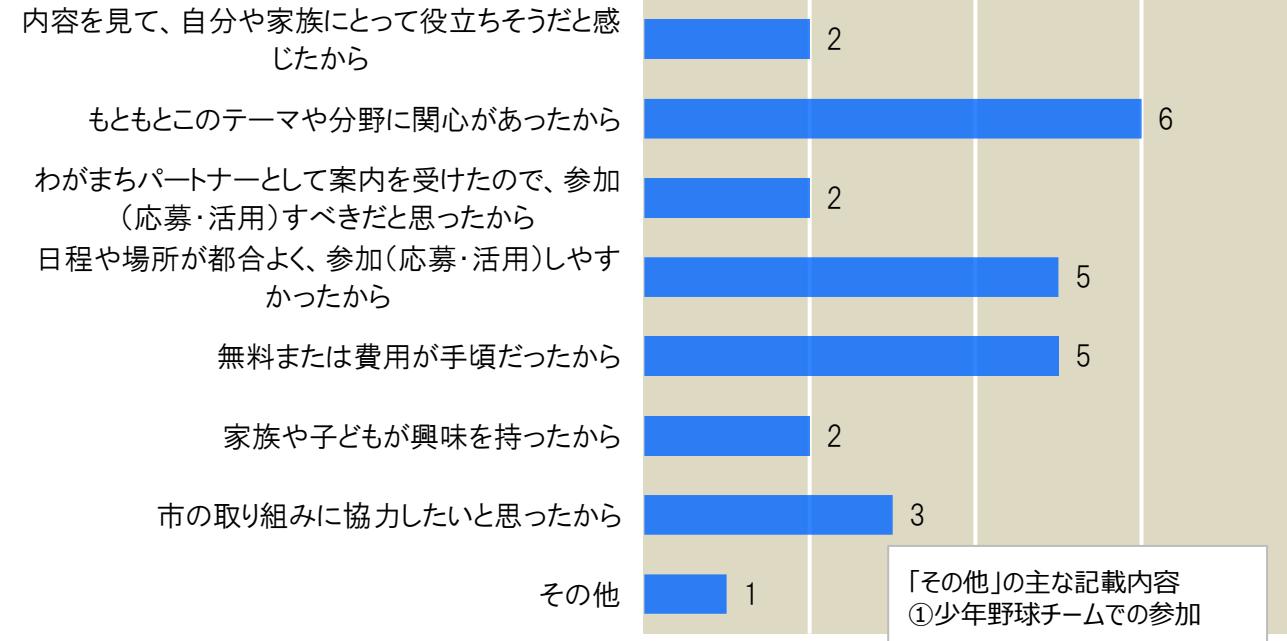
調査 対象:わがまちパートナー登録者(全59名)
サンプル数:30件(令和7年9月10日現在)
回答 率:50.8%
調査 方法:WEBアンケートフォームへ入力

6. アンケート結果（参加率と参加理由）

配信したイベントや取り組みへの参加(利用・応募)率



配信したイベントや取り組みの参加(利用・応募)理由



配信したイベントや取り組みについては、全部で7件となります。

参加(利用・応募)率について、「参加した」との回答が7.6%となりました。

参加(利用・応募)理由として、「もともと関心があったから」が一番多い結果となりました。

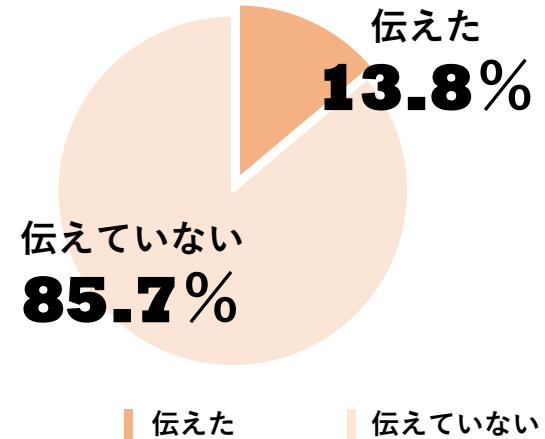
令和7年度第2回わがまちパートナーアンケート 「市政モニター制度」に関する意識調査報告書

▼調査概要

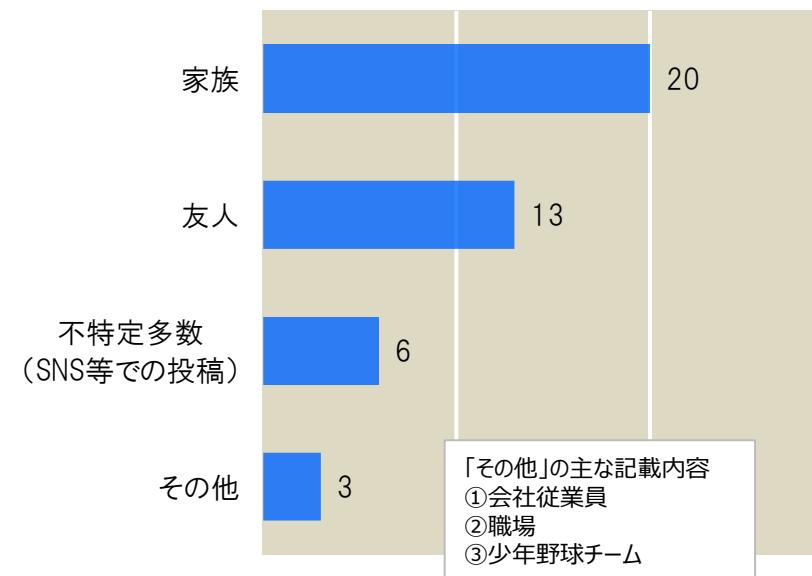
調査 対象:わがまちパートナー登録者(全59名)
サンプル数:30件(令和7年9月10日現在)
回答 率:50.8%
調査 方法:WEBアンケートフォームへ入力

7. アンケート結果（伝達率・伝達先・伝達方法）

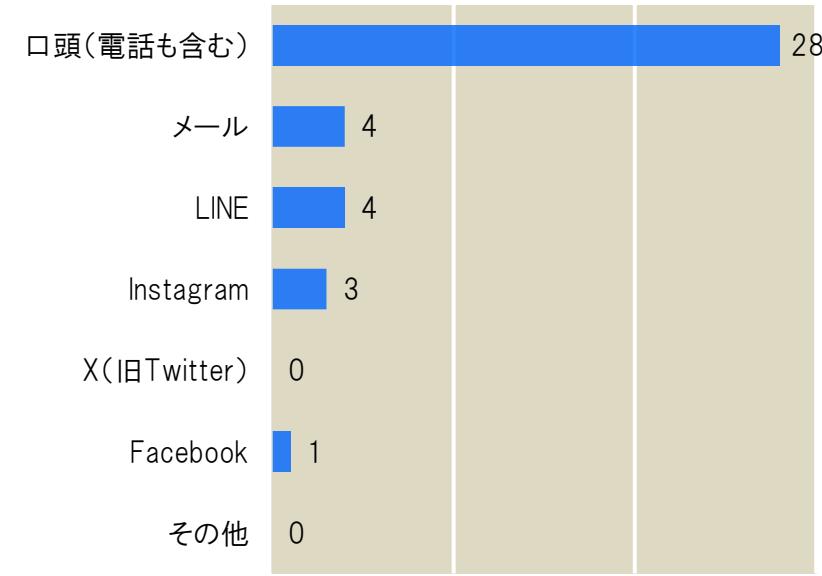
配信したイベントや取り組みを他人に伝えましたか



配信したイベントや取り組みを誰に伝えましたか



配信したイベントや取り組みをどのように伝えましたか



周知状況として、他人に「伝えた」と回答した方が13.8%となりました。

そのうち、「家族」に伝えた方が一番多く、「口頭(電話も含む)」で伝えた方が一番多い結果となりました。

令和7年度第2回わがまちパートナーアンケート 「市政モニター制度」に関する意識調査報告書

▼調査概要

調査 対象:わがまちパートナー登録者(全59名)
サンプル数:30件(令和7年9月10日現在)
回答 率:50.8%
調査 方法:WEBアンケートフォームへ入力

8. アンケート結果（自由意見・属性）

- LINEを活用したアンケートは参加しやすい
- 興味の合う案件に少しでも関われればと思っている
- 充実したアンケートを実施してほしい
- アンケートを短く端的な設問にすることで回答しやすくなる
- モニターは市民の“声無き声”を拾って行政側に報告する橋渡し役であるため、町会や自治会なども通じて、本制度の存在や役割をもっと認知してもらってはどうか

回答者の年齢層



本取組みそのものに対して肯定的・期待的な声が多く寄せられました。
特に「LINEでの参加のしやすさ」「現状でよい」といったご意見もあり、本制度が一定の評価を得ているといえます。
一方で、情報発信の工夫や認知度向上の必要性という指摘もありました。



令和7年度第2回わがまちパートナーアンケート 「市政モニター制度」に関する意識調査報告書

▼調査概要

調査 対象:わがまちパートナー登録者(全59名)
サンプル数:30件(令和7年9月10日現在)
回答率:50.8%
調査方法:WEBアンケートフォームへ入力

9. アンケート結果（まとめ）

考察

今後の取り組み

情報発信・参加状況

多くのモニターが、情報発信を「有益」と捉え、周知や参加の意識は高い。実際にイベント参加に結びついたケースも一定数あり、本取組みの効果がみられる。

情報伝達

イベントや施策について、家族や友人に「伝えた」と回答したモニターも多く、二次的な情報拡散の効果が確認できた。伝達手段は「口頭」が中心だが、SNSなどの活用も一部みられる。

LINEでの情報発信を継続し、タイムリーな情報提供に努めるとともに、市政モニターが役割を発揮できる環境づくりを進める。

アンケート設問は、より簡潔かつ明確に整理し、回答のしやすさを高める。

今後は参加率を踏まえ、参加型アンケートの実施に向けて改善を図る。

より広域な情報拡散を視野に入れ、SNSでの発信も活用いただけよう、画像やウェブサイトリンクを提供するなど、発信方法の工夫を図る。